

D分科会 管理職のための財務の見方

講師：岡田 綾子 氏 / 木下 博貴 氏
(日本私立学校振興・共済事業団)

運営委員：真板 陽介 / 中山 雄二

この分科会には、理事、法人事務局長及び経理部門の管理職の方々を中心に30名の申し込みがあり、学校会計に関する知識が豊富な方から、初めて学校会計に携わる方まで幅広い層の方々にお集まりいただきました。講師には、日本私立学校振興・共済事業団から、経営支援室 室長 岡田綾子氏及び私学情報室 副主幹 木下博貴氏をお招きし、初日と2日目の両日にわたり、学校会計の基礎から、自法人の財務分析、経営判断指標等に至るまでの内容を、演習を織り交ぜながらわかりやすく解説していただきました。

初日は、学校法人会計の歴史や目的等についての説明から始まり、その後、各計算書類の役割や構造についての解説をいただきました。学校法人会計基準の改正により、平成27年度より新たな様式での決算書となったため、改めて変更された部分についての解説をいただいたことによって、知識の再確認を行うことができました。

2日目は、自法人の決算書を用いて、学校法人会計基準改正に伴う新基準での財務比率等も含め、財務分析の実践を行いました。自法人の財務分析結果を全国の大学法人等のデータと比較した相対評価に基づいて、財務分析レーダーチャートを作成したことにより、各法人の強みと弱みを客観的に把握することができました。また、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当する活動区分資金収支計算書を活用した経営判断指標による学校法人の経営状態の把握、分析を行うと共に、損益分岐点分析についても演習を交えながら学びました。特に、日本私立学校振興・共済事業団からご提供いただきました、参加法人ごとの「経営判断指標判定表」や、参加者が私学情報提供システムからダウンロードした「私学活性化分析資料」を使って、具体的な説明を頂いたことにより、財務データを用いた経営改善計画について理解を深めることができました。

最終日は、架空の法人（東西学園）の決算書を用い、新基準での財務比率をも含めた財務分析の解説を行いました。東西学園の財務分析結果と自法人の財務分析結果を重ね合わせることで、財務分析の意義や活用法について理解することができたと思われま

す。この3日間の分科会によって、参加した管理職の方々に、決算書から各学校の現状を読み取り、今後の課題の発見や、経営上の目標等を定める力をつけていただくことができました。分科会の内容については参加者からは概ね好評価を頂いておりますが、来年度以降に向けて、参加者がすぐに業務に活かすことができるような、より具体的かつ実践的な分科会を展開していきたいと考えております。

最後に日本私立学校振興・共済事業団の方々にはわかりやすい資料等をご準備いただいたことに加え、丁寧なご指導をいただきましたことに心より御礼申し上げます。